

事業所名

放課後等デイサービス いろは

支援プログラム

作成日

令和6年

1月

15日

法人（事業所）理念		それぞれの個性が尊重される環境をつくり、豊かに暮らせる社会づくり ボーダレスで、ワンワールドな世界					
支援方針		①「安心・安全」な場所 ②自分らしく「楽しむ」場所 ③「挑戦」できる場所 ④「社会で豊かに生きられる力を育む」					
営業時間		11時00分から	19時00分まで	送迎実施の有無	あり なし		
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	食事、排泄、睡眠、衣類の着脱など身辺自立に向けた生活に必要な基本的技能を獲得できるよう、生活の場面における環境の工夫を行う。 個々の発達段階や生活環境を鑑み、基本的生活のスキルアップを目指して、状態に応じて適切な時期に適切な支援を行う。					
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動、動作の改善及び習得、筋力の維持・強化を図る。（専門職員による支援） 保有する視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊びや支援グッズを用いた自立課題を通して支援を行う。 公共交通を使用して移動・外出。					
	認知・行動	一人ひとりの認知の特性を理解する。 視覚でわかるようイラストを用いてタイムスケジュールの提示を行う。 支援グッズを使って、数量・大小・重さ・色・長短など概念形成を楽しく行う。					
	言語 コミュニケーション	言葉によるコミュニケーションだけでなく、指差し・マカトン・手話・イラストカード等を用いて意思のやり取りが行えるよう コミュニケーションに必要な基礎的な能力を身につけることができるよう支援する。 具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつけること等により、自発的な発声を促す。					
	人間関係 社会性	感情が崩れたり、不安になった際に寄り添い、「安心・安全」な場所になるよう支援する。 集団活動を通して他者とかかわりを深めていく。 公共の場での約束やルールを理解し、その場に合った振る舞いができるよう支援をする。					
家族支援		発達状況や特性の理解に向けた相談援助、講座を行う。年に数回、年齢ごとに分けた保護者会や茶話会を開催。家族の子育てに関する困りごとを受け、専門職による相談援助を行う。レスパイトや就労等の預かりニーズに対応するための支援を行う。		移行支援	必要に応じて、保育所や小学校を訪問し、対応方法など共通理解を図る。 ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた準備を行う。 中学生以上を対象にした保護者会の開催、生活介護や就労に向けた事業所見学。		
地域支援・地域連携		関係機関と必要に応じて連携を図りながら、地域での買い物支援など自立に向けたサポートを行う。関係機関との交流と情報交換。地域連携会議への参加。		職員の質の向上	職員の研修、勉強会への参加。 毎月の事業者内研修。外部研修の内容共有。 毎日のミーティング・カメラで前日の確認を行い、支援方法の振り返り。		
主な行事等		初詣・豆まき・キャンプ・お誕生日会・買い物支援・電車でGO！・ハロウィン・クリスマス会・スポーツ大会・夏祭り・クッキング					